

◇2022年11号では、特集「分析科学のSDGs」が掲載されています。この読み応えある特集に加えて、奇しくも「とびら」、入門講座でも、持続可能な地球/学問世界に関する話題がテーマとなっています。広義の環境問題に関する意識がまさに今変わろうとしていることを感じます。

◇環境の変動・変化は時に大なる試練となって、繰り返し人類に襲いかかってきました。今日でもそれは人間のちからで完全に御せるものとは言えないでしょう。制御しよう、克服しようとするだけでなく、変化・変動に対して柔軟に応じられることも、場合によって重要な姿勢ではなからうかと思わせる昨今です。

◇うどんと言えば、子供の頃の定番は煮込みうどんでした。いりこ出汁の醤油仕立てで、人参・大根・椎茸・蒟蒻・鶏肉・かまぼこ・てんぷら・里芋などの具材がひしめくどんぶりの中に、柔らかくふやけたうどんが顔をのぞかせていたのを懐かしく思い出します。あ、でも地域の“ごちそう”うどんとして、ごまだしうどんをお勧めします（地域はご推察ください）！

[H.S.]

〈とびら〉

先入観を無くし変化を受け入れる……………菅沼こと

〈入門講座〉 地球環境問題へのとびら

大気汚染—小型センサーの基礎と応用—

……………中山智喜, 松見 豊

〈解 説〉

外部標準法定量 NMR (EC-qNMR) のすすめ……………西崎雄三

〈ミニファイル〉 衛生と安全

実験排水・廃液の適正管理……………川上貴教

〈話 題〉

食品中のネオニコチノイド系農薬分析法……………中村圭介

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)		
〈副委員長〉 菅沼こと (帝人(株))		
〈理事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)		
〈幹事〉 坂牧寛 (化学物質評価研究機構)	東海林 敦 (東京薬科大薬)	菅 寿美 (海洋研究開発機構)
富岡賢一 (三菱マテリアル(株))	村居景太 (株共立理化学研究所)	
〈委員〉 市場有子 (ライオン(株))	稲川有徳 (宇都宮大院地域創生科学)	岩井貴弘 (理化学研究所)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	齊藤和憲 (日本大学生産工)	高橋あかね (オルガノ(株))
田中佑樹 (千葉大院薬)	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
永谷広久 (金沢大院自然科学)	中原佳夫 (和歌山大システム工)	野間誠司 (佐賀大農)
福島健 (東邦大薬)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
三浦篤志 (北大院理)	宮下振一 (産業技術総合研究所)	森 勝伸 (高知大理工)
森山孝男 (株リガク)	山崎由貴 (国立医薬品食品衛生研)	

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願い等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2022年第11号(通巻575)

2022年11月1日印刷

2022年11月5日発行 定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2022, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。